

令和4年度 公益財団法人埼玉県スポーツ協会 第二回定例理事会議事録

日時 令和4年9月1日(木) 14時00分より  
 会場 スポーツ総合センター 301・302 研修室  
 出席者 [理事]

新井 彰 工藤由起子 久保 正美  
 小林 伸子 井上 寿枝 有川 秀之 久保潤二郎  
 宮下 達也 山下 誠二 山之内正隆 上羅 廣  
 内田 秀男 後藤 節哉 森泉 照夫 竹内 政行  
 谷古宇勘司 関根 恒喜 吉川 洋一 鈴木 紀幸

(以下、オンライン参加)

日吉 亨 立花 陽明 天野 賢一 高橋 利明

[監事]

青砥 修二 原口 博

[事務局]

栗原 健一 阿部 隆宏 久保 吉史 本間孝太郎



久保  
総務課長

ただいまから令和4年度第二回定例理事会を開催いたします。始めに定足数の確認をいたします。理事総数29名本日招集19名、オンライン4名、計23名の出席により、本理事会が成立したことをご報告申し上げます。

それではご挨拶を頂きます。公益財団法人埼玉県スポーツ協会代表理事の新井彰副会長が、ご挨拶申し上げます。



新井副会長

皆さんこんにちは本日は大変お忙しい中、今年度2回目の定例理事会に出席頂き、感謝を申し上げます。今回は先の役員改選後初めての会議でございます。新たに就任されました理事の皆様、ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。再任されました理事の皆様、引き続きよろしくお願い申し上げます。去る6月10日に私ども役員の方で会長にお会いしました。その席で大野会長を先頭に、私ども役員・理事、県民のスポーツ振興にお役に立てますよう、ワンチームとなって頑張ってもらいますので、どうぞ指導のほどお願いをしたい。というように申し上げてまいりました。大野会長からは、私の方こそよろしくお願い申し上げます。という言葉頂いたところでございます。今年国体本大会が3年ぶりに開催されます。ただそうは言いましても、この2年間は新型コロナによりスポーツ界にとりまして大変苦しい、厳しい時期だったというふうに思います。私見になりますけどそんな中、先月仙台育英高校が東北勢として初めて夏の甲子園優勝という快挙を成し遂げました。ご



記憶の方も多いかと思いますが、仙台育英高校の須江航監督は、埼玉の鳩山中学校を卒業されたと聞いております。その須江監督の優勝スピーチの中で、コロナ禍で思うような高校生活を送れなかった生徒たちへ「青春ってすごく密、でもそういうことは全部ダメだ、ダメだと言われて、活動をしていてもどこかで止まってしまうような苦しい中で、本当に諦めないでやってくれたこと。全ての高校生の努力の賜物が、たまたま最後、僕たちがここに立ったということだけなので、ぜひ全国の高校生に拍手してもらえたらなと思います。」とのスピーチでした。そのスピーチを聞いて、感動した1人でございます。このことはおそらく球児に限らず、全てのアスリートに対するエールだというふうに思いました。私としてはこういったスポーツの良さというものを再認識したところです。このスポーツの素晴らしい力を、本協会ですら少しでも支えていければいいなと強く感じたところです。改めまして皆様と力を合わせ、ワンチームとなって、県民のスポーツ振興のために頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

今日行われます理事会の後に、埼玉弁護士会より講師をお招きして役員向けの研修会が予定されております。皆様にとりましても、本協会にとりましても、実りあるものとなりますようご祈念を申し上げます、言葉が整いませんが挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いをいたします。

久保 総務課長	ありがとうございました。それでは、早速議事に入りたいと思います。規定に基づき、議長を新井副会長にお願い致します。
新井副会長 (議長)	では、暫時議長を務めさせていただきます。議事録署名につきましては、規定に基づき、私と本日ご出席の監事の皆さん、お願い致します。 それでは議事に入ります。はじめに協議事項ですが、先月25日に行われた総務委員会にて本日の理事会上程議案の整理を行って頂きましたが、総務委員会より何かございますか。
工藤 総務委員長	今日の議事につきましては、協議事項はございませんので、報告事項のみということでよろしくお願いを申し上げます。
新井議長	ありがとうございます。それでは本日は報告事項のみとなります。早速ですが、順次報告事項の説明をお願いいたします。次第に基づきまして、アの代表理事等の執行状況について、

	<p>これは一般法人法並びに定款によりまして、対面の説明が義務付けられております。久保専務理事より説明をお願いしたいと思っております。</p>
久保 専務理事	<p>専務理事の久保でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。4月から始まりまして、4月28日の定期監査会、5月12日の理事会、13日には加盟団体協議会、そして5月30日に定時評議員会、臨時理事会を行い、役員改選が行われました。6月7日には国体に向けた高等学校・中学校の校長先生などの強化特別委員会が県民健康センターで行われました。そして先ほど副会長からもありましたが、6月10日には大野会長のところへ、代表理事、業務執行理事で、就任の挨拶に行っていました。6月16日、関東地区体育協会等の連絡会議が東京都で行われました。それから6月24日から6月30日まで市町村体育協会等連絡会議が東西南北4地区それぞれで行われております。7月1日は国体の必勝対策会議、7月4日には浦和レッズと本会との包括連携協定締結式が県庁で行われております。7月22日には県スポーツ推進審議会、これは県の審議会でございますけれども、私と有川理事等が出席をしております。第3期のスポーツ推進計画につきまして、議論を今進めております。8月2日からは四国4県で行われましたインターハイに私の方で視察・激励に行っていました。8月23日にはプラチナジュニア育成プログラムということで、日本薬科大学で実施をいたしました。以上、簡単ではございますが、職務の執行状況につきまして報告とさせていただきます。</p>
新井議長	<p>ただ今の説明について何かご質問等ございますか。 ないということで次の報告事項に入ります。理事の所属委員会について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
久保 総務課長	<p>それでは私の方から理事の所属委員会について説明させていただきます。5月30日に行われました理事・評議員会にて新たな役員が決定いたしました。その後理事の皆様方に所属委員会を決めるべくアンケートをとらせて頂き、これまでの状況も勘案しながら委員として決定させていただいたところでございます。本日委嘱状を皆様方の机の上に置かせて頂きましたので、改めてご確認頂きたいと思っております。なお委嘱日につきましては、既に実施している普及委員会・総務委員会・スポーツ科学委員会につきましては、委員会開催日から令和6年度定時評議員会までが任期になっております。その他の現時点でまだ委</p>

	<p>員会を開いてない委員会につきましては、本日からの委嘱日という形で委嘱状を作成させていただいておりますので、改めましてご確認をお願いしたいと思います。以上でございます。</p>
新井議長	<p>ただいまの説明につきまして、何かご質問等がございましたらよろしくお願ひいたします。ないようですので、次のウに入りたいと思います。委員会等並びに直営事業報告について、始めに総務委員会工藤委員長をお願いしたいと思います。総務委員会からは、事務局がマイクを回しますので、続けてご報告をお願いします。</p>
工藤 総務委員長	<p>では総務委員会の報告をいたします。座ったままでお許し頂きたいと思います。8月25日スポーツ総合センターで、全員出席のもと総務委員会を開催いたしました。理事会上程議案等の整理について話し合いました。協議事項の関係について、先ほど議長さんの方からもお話が出ましたけれども、会議資料のペーパーレス化について等の話し合いをいたしました。総じて、ペーパーレス化には賛成だが、あれだけ大量の資料を打ち出して持ってくるというのは、本当にペーパーレス化に繋がるのかというような話がでまして、様々な工夫をしてペーパーレス化に協力していこうということになりました。専門委員会等の活動に伴う報酬についてですが、これについては、この後のその他に出てまいりますので、ご意見をお持ちの委員の方々、他県の状況、他団体の状況と、ご存知の方がいらっしゃいましたらご意見いただければと思います。以上です。</p>
久保 専務理事	<p>それでは引き続きまして、選手強化対策委員会について、私の方から報告をさせていただきます。新役員になってからの選手強化対策委員会はございませんでした。先ほど申し上げました通り、選手強化特別委員会が6月7日に39名の校長先生方にご参加頂きまして開催をされました。また7月1日には、栃木国体に向けた必勝対策会議、スポーツ総合センターの講堂で行われました。その中ではアンチドーピング研修なども日本スポーツ協会から義務付けられておりますので、関係者に研修会を実施しております。また、彩の国アスリート育成推進会議ということで、7月12日発掘プログラム等の内容などを協議させて頂きました。</p> <p>選手強化等中期計画策定作業部会、第1回は7月21日、第2回は書面によって8月に実施をしております。これまで国民体育大会に向けた中期計画として、国体の強化5ヶ年計画とい</p>

うものを、本協会の方で策定をしまいましたが、今後は国体に限らず、国際大会等で活躍できる選手を育成するために、国体を中心として様々な競技のトップアスリートを育成するための中期計画を策定していこうということで、この方向性を共有事項として、委員会の方でも作業部会の方でも議論を重ねております。

今年の第77回国体の関東ブロック大会が東京都を会場として6月から8月29日まで開催をされました。今年は例年以上に頑張ってもらって、関東ブロックを突破する競技がたくさん出てまいりました。特に今年は栃木県が開催ということで、開催県はストレート参加、いわゆる関東予選も出ないので、例年は8都県で争うものが7都県で争うことになったというような状況もございます。本県の各競技の選手団、頑張っていたのだなというふうに感じております。埼玉県は都県全体の突破率が62.1%。前回74回の茨城国体のときが61.6%でしたので、それを上回っております。その下に東京が同じ62.1%、その次が千葉の53.5%、神奈川が47.6%ということで、関東の各都県では、一番の突破率になっております。種別ごとの突破率を見てみますと、成年男子が今年度67.7%、成年女子が65.6%、少年男子がちょっと厳しいですけど50%、少年女子が66.7%ということで、各種別とも頑張ってもらっておりますので、本大会での活躍を期待したいなというふうに思っております。

競技力向上事業（補助事業）ということで、国体に向けた強化事業、(1)として各競技団体等に補助金を出して競技力向上に努めていただいております。(2)としてジュニアアスリートアカデミーなど、彩の国アスリート育成プロジェクトということで、今それぞれ取り組んでいただいております。

(3) その他の事業といたしましては、中体連・高体連に選手強化を行っていただいておりますので、そちらにも補助金を出しております。トップアスリートの強化支援事業、次世代アスリート発掘育成の事業といたしまして、プラチナキッズ・プラチナジュニアなどの事業を実施しているところでございます。次世代アスリート発掘育成事業いわゆるプラチナ事業ですけども、前半だけでもかなりの回数を行っておりますので、各カテゴリー・年代におきまして、子供たちも一生懸命頑張っているということでございます。選手強化対策委員会につきましては以上でございます。

続きまして、普及委員会でございますけれども、浅見委員長が本日欠席ですので、私の方から説明をさせていただきます。8月

	<p>22日のスポーツ総合センターにおきまして、普及委員会を開催いたしました。今回は皆さんご承知かもしれませんが、総合型地域スポーツクラブの登録認証制度というものが本年度から始まりました。これまでは国の方でも、日本スポーツ協会におきまして、総合型の登録というものを正式には行っていなかったわけですが、埼玉県内でも約95のクラブがあるわけですが、そこに案内をしまして、登録料5000円の支払い、それからSCネットワークへの加盟、それ以外もいろいろ条件がありますが、そういうものを示しまして、申請を頂きました。県内の総合型地域スポーツクラブ28クラブが申請をいたしました。様々な審査事項がありましたけれども、書類審査を実施いたしまして、全てのクラブが認定ということで、現在日本スポーツ協会の方に報告をしているところでございます。今後登録証が届きますので、各クラブに配布をして参りたいと思います。普及委員会からは以上です。</p>
<p>宮下理事</p>	<p>広報委員会については、宮下が報告いたします。  まず、令和4年度に入り、委員会は開催していません。  活動の概要ですが、スポーツ埼玉295号を7月31日に発行しました。「部活動・理想の地域移行を探る」と題し、北本市内の剣道場「解脱錬心館」田中館長・吉田主任のインタビュー記事を取り上げました。配布先については、賛助会員や関係機関へ配布している他、県内の公共スポーツ施設・図書館、ゴルフ練習場、県歯科医師会会員、県健康スポーツ医会認定医、県理容組合加盟店、さらに埼玉県人会会員へも配布しています。  次号は、いちご一会とちぎ国体の特集号として11月中旬に発行する予定です。広報委員会からは以上です。</p>
<p>有川理事</p>	<p>私からスポーツ科学委員会のご報告をいたします。前回のスポーツ科学委員会と名前は同じですが、組織・運営の仕方が異なりますので、追々ご覧いただければと思います。まずスポーツ科学担当役員ということで、理事の中で5名、その出席者5名と、最初でしたので久保専務理事にも入って頂き、リードして頂きました。その中で委員長を私有川が務めることとなり、立花先生と久保潤二郎先生が副委員長になりました。またスポーツ科学委員会の委員の指名・委嘱を行いました。続きまして、第1回のスポーツ科学委員会、8月22日に出席者13名で行いました。その時の協議事項の内容は以下の4点で、スポーツ科学委員会臨時委員を承認しました。また令和4年・5年の委員会の業務の担当について分担をいたし、令和4年度の事</p>

業計画・予算を確認し、当面の主要課題というものも確認をいたしました。

次に事業の実施になります。アンチドーピング教育啓発事業として、前回のスポーツ科学委員会からの仕事と分けるのが難しいですが、令和4年7月1日に行っております。それから国体選手の健康管理事業というもの。そして、研修会・講習会の開催ということで7月10日。その他の事業として、国体選手を中心としたアンチドーピング教育啓発事業の冊子を作成・印刷・配布をする、あるいはする予定になっています。スポーツ科学委員会からは以上となります。よろしくお願いします。

久保  
総務課長

続きまして、スポーツ少年団の報告について、私久保の方からご説明させていただきます。

5月21日に本年度の第1回の本部員会を開催いたしました。前年度の事業報告・決算、また協議事項として種目別運営費の補助金分配等について、協議をさせていただきました。代議員会も同日に開催いたしました。こちらで尾崎本部長はじめとする27名が選出されたところでございます。

8月5日に第2回の本部員会を実施しております。協議事項・報告事項につきましては、ご覧の通りでございます。活動の概要ですが、本年度コロナ禍ではございますが、各団体様のご尽力により実施をしまして、全国大会等も実施し始めております。

また日独同時交流ということで、オンラインでの開催となりました。本県から1名が参加させていただきました。関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会につきましては、記載の通りになりますが、7月17日から31日まで4日間、また空手道につきましては、9月半ばに交流大会の実施予定となっております。関東ブロックスポーツ少年団大会は東京都で実施予定でしたが、こちらは中止となっております。また種目別交流大会については、実施できている団体もございますが、競技によってはコロナ禍の影響で中止になっている競技もございます。簡単ではありますが、以上スポーツ少年団の報告とさせていただきます。

久保  
専務理事

それでは続きまして、市町村体育協会・スポーツ協会連絡会議でございます。6月に県内東西南北の各地区におきまして、市町村体育協会・スポーツ協会の皆様、そして教育委員会の主管課の方も一部ご参加を頂きまして開催をいたしました。同月24日には北部で秩父市にお世話になりました。27日は西部で

滑川町に、28日は東部で蓮田市に、30日は南部で桶川市、各会場をご提供頂きました。市町村体育・スポーツ協会への皆様には感謝を申し上げたいと思います。

4地区で147名の方にご参加を頂き、今回情報交換のテーマといたしましては、運動部活動の地域移行ということで、各市町村の現状についてご報告を頂きました。全体的に申し上げますと、まだ市町村におきましても、その地域移行についてはよく理解をされていない、ましてや準備が進んでいるというところはほとんどなくて、今後どうなっていくのかというところを心配する声はかなり多かったという印象でございます。

この資料を作った時点では、5月31日にという書き出しで文章が書かれておりますけれども、6月6日にはスポーツ庁が設置をいたしました検討会議の提言が、室伏スポーツ庁長官の方に提出をされております。それを受けてスポーツ庁の方でも、各団体等に要請文を手渡しておりますが、日本スポーツ協会には、7月26日スポーツ協会への要請ということで、要請文が手渡されております。

その内容につきましては、新聞等でも報道されましたが3つございます。1つ目は地域におけるスポーツ活動の実施主体、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団に関する取り組み、2つ目は、地域におけるスポーツ指導者の質の保証・量の確保方策に関する取り組み、3つ目は大会のあり方に関する取り組み。これをしっかりやるというような要請文がスポーツ庁の方から、日本スポーツ協会に届いております。これを受けて各都道府県のスポーツ協会がマニュアル化しなくてはならないことになるかと思いますが、具体的なことはまだ指示をされておられません。それからこの市町村の連絡会議でも申し上げましたが、埼玉県といたしましても今後検討がなされるということです。9月15日に埼玉県部活動地域移行振興推進委員会というのが開かれるということになっております。教育委員会の中、それとスポーツ振興課の方で出されるのですが、私の方にもコーディネーターという立場で参加してほしいということで要請が来ておりますので、そこで検討状況につきましても聞いていきたいと思っておりますし、また様々な課題があります。皆さんもご承知だと思っておりますが、そう簡単にこの課題を解決するわけにはいかないと、3年間で本当にできるのかどうか、埼玉県として考えて検討してほしいということは申し上げたいなと思っております。市町村の体育・スポーツ協会としても、いろんな情報を待っている状況ですので、県の推進委員会からの情報もいち早くお届けしたいなと思っております。以上です。



新井議長	ただ今の説明について何かご質問等ございますか。
竹内理事	<p>総務委員の竹内です。よろしくお願ひします。紙の資料が多すぎると工藤委員長からもペーパーレス化ということでお話があつて、これも20年前からペーパーレスということでやってきているのですが、一向に進んでないので、ぜひここでペーパーレスをやつて頂きたいのが本音です。ペーパーレスをやることによってメリットは何があるかという、まず環境に良いということ、あとペーパーレスをやることによって、会議が早く終わります。事前に資料をいただいて、自分で内容を把握して、必要などだけコピーやメモをしながら会議に臨めますので、会議が短くなる。良いことですので、ぜひペーパーレス化を進めて頂きたいと願つています。よろしくお願ひします。</p>
新井議長	御意見ありがとうございます。事務局としてはいかがでしょうか。
久保専務理事	<p>ただ今、竹内理事からもお話がありました通り、今後ぜひペーパーレス化を推進していきたいと思つております。今日は試験的にスクリーンで資料をお示ししながら、いつもと同じように紙もお配りしておりますが、事前にメールで送ることによってその紙がいらぬかどうかというような感覚は皆さん多分感じられると思ひます。このスクリーンでプロジェクターに映せばいいというようなことであれば、それは紙を省略するとか、少しずつ試験的に進めながら判断をしていきたいと思つております。本当であればタブレット等を皆さんに一つ一つお配りして、資料を画面上で見ただくというのが一番理想的かなと思ひますけれども、予算的にも難しい部分がありますので、できるところから進めたいと思つております。</p>
新井議長	<p>私としてもペーパーレスで進めて頂きたいと思ひますので、課題もありますが、克服しながらやっていきたいと思ひます。他にございますか。(なし)</p> <p>それではないようでしたら、次の第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」について、久保専務理事から説明をお願いします。</p>
久保専務理事	今年の国体本大会は、現状開催ができるかなということで、今準備を進めております。今年は、栃木県において開催をされ

	<p>ます。10月1日土曜日、総合開会式が宇都宮市にありますカンセキスタジアムとちぎ、昭和55年の栃木国体でも使用されました栃木県総合運動場陸上競技場で開催をされます。そこから10月11日まで、本大会の会期は11日間でございます。</p> <p>そして、総合開会式の前の9月には会期前競技として、水泳・体操・ビーチバレーボール・弓道の4競技が9月10日から19日まで開催されることになっております。</p> <p>なお、埼玉県選手団の結団式につきましては、今のところ9月20日、埼玉会館において開催をする予定でございます。ただ感染症の状況によりましては、開催の方法を変えて実施することになるかもしれませんが、今のところは埼玉会館で開催する予定ということです。今の時点で、栃木県の実行委員会の方からですね、例年ですと各競技会場に都道府県本部役員などは人数制限なく会場に入れますが、今回は1会場5名までにしてほしいという要請がきておりまして、各競技あるいは我々本部役員として、その指示に従って動かなくてはいけないということで、今調整をしているところでございます。いずれにいたしましても、栃木国体におきまして、我々の目標であります天皇杯・皇后杯ともに3位以上という目標を達成できるように、選手団一丸となって頑張りたいと思います。以上です。</p>
<p>新井議長</p>	<p>ただいまの説明につきまして何かご質問等ございますか。</p> <p>(なし) 国体が開かれるのは3年ぶりになるろうかと思えます。</p> <p>それでは次にいきたいと思えます。オのスポーツ埼玉未来づくりパートナー協定についてと、カの彩の国スポーツ推進パートナーの応募・申請状況について、それからキの彩の国プラチナキッズ・ジュニアの募集について、クのみんなでプラチナ体験大作戦について、いずれも関連しておりますので、一括して本間競技スポーツ支援課長から説明をお願いいたします。</p>
<p>本間 競技スポーツ 支援課長</p>	<p>はい。それでは競技スポーツ支援課の本間より説明させていただきます。</p> <p>先ほどもご報告がございましたが、7月4日に浦和レッドダイヤモンズ株式会社様と本会において、包括連携協定を締結いたしました。包括連携協定の内容につきましては、これまでの各トップチームの皆様と同じく、7項目の内容で進めていくことになっております。9月17日にプラチナキッズの体験会を開催予定でございます。次年度以降につきましては、情報交換しながら検討を進めてまいりたいと思えます。また現在一般社団法人埼玉県歯科医師会様、そして大塚製薬株式会社様との包括</p>

連携協定を締結に向けて協議を進めているところでございます。こちらも協定締結に向けて準備を進めたいというふうに考えているところでございます。

続きまして、彩の国スポーツ推進パートナーの応募・申請状況についてです。彩の国スポーツ推進パートナーということで、本会の各事業に対して専門的なご支援をいただける皆様をパートナーとしてご登録をし、各事業でご支援・ご協力いただくということ、昨年度の理事会において立ち上げた制度でございまして、今回新たな制度になりまして、4名程新たなパートナー・専門家の皆様から応募がございまして、一昨日面接を行いました、今後ご協力いただくことで進めております。今現在52名のパートナーがおりますが、そちらの皆様を加えて56名の皆様で本会の事業を進めてまいりたいと考えております。

続きまして、彩の国プラチナキッズ・ジュニアの募集についてです。現在プラチナキッズ・プラチナジュニアのオンラインでのエントリーを受付けているところでございます。9月29日まで応募を受け付けておりまして、現時点でプラチナキッズの応募については600名前後、プラチナジュニアについては60名前後の申し込みがきているというところです。今後体験会等の機会を提供することで、子どもたちを盛り上げてまいりたいと思います。

続きまして、みんなでプラチナ体験大作戦になります。こちらは、本会で初めて取り組んだクラウドファンディングによって立ち上げた事業でございまして、プラチナキッズの10周年を記念いたしまして、プラチナキッズで蓄えた知見を県内の小・中学生の皆さんに体験していただくということで企画をしたものでございます。今年度につきましては9月23日にスポーツ総合センターと県立武道館にて開催を考えております。内容といたしましては、県内トップチームの皆様による体験会、そして競技団体の皆様による体験会、こちらプラチナジュニアの対象4競技の体験を踏まえております。加えまして保護者向けのスポーツ科学に関わるセミナー、そして体力測定会を実施するというところで、この体力測定結果をプラチナキッズ・ジュニアのエントリーに使用できるということで、企画を進めているところでございます。また加えまして、こちらのプログラムにつきましては、来年度以降は現在スタッフの皆様と一緒に展開をしてまいりたいと考えてございまして、スタッフの受け入れも同時に行っているところでございます。以上4点ご報告をさせていただきます。

新井議長	<p>ただいまの説明につきまして、何かご質問等ございますか。  (なし)それではないようでしたら、次のケの埼玉県スポーツ賞会長特別賞について、久保専務理事お願いいたします。</p>
久保専務	<p>埼玉県スポーツ賞授与式は例年3月に行われておりますが、国際大会などで活躍をし、特に秀でた成績を収めた者・チームに会長特別賞というものを随時授与しております。今回はラグビーの埼玉パナソニックワイルドナイツが、リーグワンの初代王者に輝きました。この活躍に対しまして会長特別賞を授与するということで、9月11日に熊谷市役所からパレードが行われますけれども、そのパレードの会場で、大野会長の方から、パナソニックワイルドナイツに対しまして会長特別賞を授与したいというふうに考えております。以上でございます。</p>
新井議長	<p>ただいまの説明について、ご質問等よろしいでしょうか？  それでは、この100周年記念事業につきまして、これは栗原事務局長から説明をお願いいたします。</p>
栗原 事務局長	<p>それでは座ったままで失礼します。資料6をご覧ください。役員改選前から取り組んでいる事業として100周年記念事業がございます。本会は令和7年2月26日に創立100周年を迎えることから、平成30年5月11日に開催された平成30年度第一回定例理事会において「100周年特別委員会」の設置が認められ、10月13日には「第1回埼玉県体育協会100周年特別委員会」を開催し、その後、100周年記念式典部会、100周年事業部会を開催し、参考1にありますとおり、100周年記念事業の実施期間は当該年度の令和6年4月1日から祝賀式典の日までとし、祝賀記念式典は令和7年2月23日(日)に計画しており、祝賀記念式典をはじめ12事業を計画しております。なお、記念誌及び体育史の発刊では、100周年記念にはスポーツ埼玉特別号として作成し、体育史第5巻は翌年(101年目)に発刊したいと考えております。</p> <p>コロナ禍により、100周年事業費用の特定費用準備資金の調達状況が悪く、イベントの開催内容や方法の再検討が必要となっておりますが、国民体育大会埼玉県選手団ユニフォームにつきましてはいりニューアルに向けて取り組み初めております。</p> <p>以上です。</p>
新井議長	<p>ただいまの説明につきまして、ご質問等ございますか。  (なし)100周年は令和7年2月23日にセレモニーという</p>

	<p>ことです。</p> <p>以上で報告事項が終わりましたけれども、その他、次第に記載の通り、3点ございます。順次事務局から説明をお願いいたします。</p>
久保 総務課長	<p>主なスポーツ協会の会議日程を掲載させて頂きました。こちらには総務委員会の日程も記載がございますが、理事会の議案を決めるということで、こちらに書かせていただきました。理事会につきましては、第2回・第3回・第4回で記載の通りになります。また今年度は臨時評議員会ということで、令和5年3月27日にTHE MARK GROUND HOTELにて開催いたします。その他につきましては、下記主要行事、それぞれ掲載させて頂きましたので後ほどご確認頂きたいと思います。以上です。</p>
栗原 事務局長	<p>専門委員会等の活動に伴う報酬についてですが、現在は交通費等の費用弁償のみで活動していただいておりますが、今後より専門的な取り組みが増えていく中で、全て無報酬ではなくある程度の対価も必要になってくると思われまので、定款や各規程等の見直しも含め検討していきたいと考えております。以上です。</p>
新井議長	<p>ただ今の説明2点、何かご質問等ございますか。ないようでしたら次に移ります。令和8年行われる全国健康福祉祭、通称「ねんりんピック」が埼玉県で初めて開催されることとなりました。それに伴い、本日は県高齢者福祉課の担当者の方から役員の皆様に対し、大会に関する情報提供がございます。それでは、説明をお願いいたします。</p>
県福祉部 高齢者 福祉課 坂氏	<p>こんにちは。埼玉県福祉部高齢者福祉課の坂と申します。本日はお忙しい中お時間を頂戴しどうもありがとうございます。私からは「ねんりんピック埼玉県大会」について、簡単にご説明させて頂きます。埼玉県大会が令和8年度に開催されることとなりました。こちらの大会は全国から60歳以上の方が集まる、スポーツ・文化・芸術の祭典でございます。毎年全国の都道府県で順番に開催されておりました、埼玉県で初めて開催されます。開催月は毎年10月から11月の4日間、参加人数は約60万人で、大会種目は約25種目となっております。先催県の例ですが、開会式は選手が1万人程度出席し、皇室の方も参加していただくなど大変大きな行事です。</p>

	<p>種目ですが、スポーツ交流大会・ふれあいスポーツ交流大会・文化交流大会となっております。スポーツ交流大会は10種目必須のものとなっております。卓球・テニスなどが開催されています。そしてふれあいスポーツ交流大会は開催県が選択をして開催されるものになっております。10種目程度となっております。グラウンド・ゴルフ、太極拳、サッカー、ラグビーなどがこれまで開催されており、他に文化交流大会や関連イベントが行われております。今後の予定ですが、本格的な準備が来年度（令和5年度）から行われる予定です。令和5年度に基本構想を策定いたしまして、大会の会期やテーマ、そして大会の種目と開催地の市町村を決定させていただく。そして令和6年度に県の実行委員会を設立してより具体的な準備を進めていくこととなります。スポーツ交流大会の10種目は固定なのですが、ふれあいスポーツ交流大会はたくさんの種目が選択的に行われております。年々増加傾向にあります。今後は来年度（令和5年度）の当初に各競技団体の皆様や市町村の担当者様に向けて、ねんりんピックの運営委員会の開催を予定しております。また皆様にねんりんピックの種目や開催地について、アンケートをさせていただく予定です。スポーツ協会の皆様方には、今後ねんりんピックの開催に向けて大会の運営や実行委員会など、何かとご指導を賜れば、大変幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。私からは以上になります。今日はどうもありがとうございました。</p>
新井議長	<p>ありがとうございました。ただいまのご説明でございますけれども、疑問点等ございましたらどうぞ。</p>
谷古宇理事	<p>これはパラスポーツはやってないんですね。</p>
県福祉部 高齢者 福祉課 坂氏	<p>ねんりんピックのパラリンピック大会という特別な大会はございませんでして、ねんりんピックで多くの高齢者の方に参加していただくこととなっております。</p>
新井議長	<p>他にございますか。また、令和5年度以降に説明会等で周知していくということです。ありがとうございます。 それではその他も含めまして、全て説明が終了いたしました。が、せっかくの機会ですので、理事の皆様から何かございますでしょうか。（なし） それではないということであれば、以上をもちまして</p>

	議長の座を下させていただきます。ご協力をありがとうございました。
久保 総務課長	新井副会長には議長の任務を長時間お務め頂き誠にありがとうございました。リモートの皆様方、ちょっと音声聞き取りづらいというお話を早速いただいております。大変失礼いたしました。以上をもちまして、令和4年度第2回定例理事会を終了いたします。どうもありがとうございました。

<議事録署名人>

議長  
(代表理事)

新井 彰



出席監事

原口 博



出席監事

青砥 修二



